

問一 ほとんどの栄養を一食でまかなえること。(そのものさえ摂取すれば目的の栄養はとれる食品)

問二 食事は人間の楽しみであり、元気になる作用があり、また嘔むという行為が共在感覚を育み、人間を人間たらしめていると思うから。

問三 栄養を体内に取り込むのに時間をかける

問四 企業や国の倉庫で眠っている食料を利用した無料の食堂が世界中に広がっていくこと。

問五 エ

問六 ウ

問一 a イ b イ

問二 電車を使つての外出は初めてだったため、快速に乗ってひとまずほっとしたから。

問三 盲学校のボランティアをしている人なら、目の見えない朔が初めて電車に乗るのなら最寄駅から介助できるよからはからってくれてもいいのにといい不満に思う気持ち。

問四 ア

問五 境野は珈琲

問六 見えていたときの自分なら絶対にしていなかったことを始めてみたいというなら

問三 1 沿岸 2 破損 3 仮設 4 雑誌 5 看板

6 郵便 7 郷里 8 幼児 9 系図 10 私腹

1 1 胸 1 2 編 1 3 祝 1 4 照 1 5 延